

# ねりまの文化財

## 東京文化財ウィーク2023

11月1日から7日までの一週間は

「文化財保護強調週間」です。全国で文化財保護と活用の推進を図るため、各種事業が行われます。東京都では、より多くの皆様に文化財を身近に感じていただくため、文化の日前後を「東京文化財ウィーク」として、都内全域で様々な文化財の公開事業を実施します。区内では、次の事業を行います。

### 企画事業 尾崎遺跡の展示解説会

尾崎遺跡(春日町5丁目)の発掘調査で見つかった出土品について、学芸員が解説します。

尾崎遺跡は、石神井川左岸の低地から台地にかけて立地します。春日小学校建設に先立ち、昭和54年(一九七九)から55年に発掘調査を行い、旧石器から近世までの各時代の遺跡が発見され

ました。

遺跡は都指定史跡、出土品は区指定文化財です

【日時】11月4日(土)

①午前10時〜 ②午後2時〜

※各回40分程度

【場所】春日小学校1階資料展示室(春日町5-12)

【交通】練馬春日町駅 下車 徒歩8分

【参加費】無料

【定員】各回10名程度

【申込】申込不要。当日会場にお越しください。



縄文早期の土器

### 区内の国指定・都指定 文化財の公開情報

練馬区  
地域文化部  
文化・生涯学習課  
(伝統文化係)  
〒176-8501  
練馬区豊玉北6-12-1  
TEL 03(5984)2442

#### ●国指定天然記念物

練馬白山神社の大ケヤキ

【所在】練馬4-2 白山神社境内

【交通】豊島園駅 下車 徒歩5分

#### ●国指定天然記念物

三宝寺池沼沢植物群落

●都指定史跡 石神井城跡

【所在】石神井台1-27ほか

都立石神井公園内

【交通】石神井公園駅 下車 徒歩15分

#### ●都指定名勝及び史跡

●牧野記念庭園(牧野富太郎宅跡)

【所在】東大泉6-34

【交通】大泉学園駅 下車 徒歩5分

【時間】午前9時〜午後5時、火曜休園

植物学者の牧野富太郎(一八六二〜一九五七)が、大正15年(一九二六)から昭和32年(一九五七)に逝去するまで住んだ住宅と庭の跡です。

庭園には、牧野博士により植栽されたスエコザサ、サクラ「仙台屋」、ヘラノキ

など、博士にゆかりのある植物が多く残されています。記念館では、博士愛用の道具や直筆原稿、採集した植物標本などを展示しています。

令和5年春、書屋展示室がリニューアルしました。博士が研究に没頭した当時の書齋の様子を再現した展示を行います。

令和5年春、書屋展示室がリニューアルしました。博士が研究に没頭した当時の書齋の様子を再現した展示を行います。



牧野記念庭園 書屋展示室

#### ●都指定有形文化財

小野蘭山墓及び墓誌

【所在】練馬4-27 迎接院墓地内

(墓誌の公開は別所、2頁参照)

【交通】豊島園駅 下車 徒歩5分

#### ●都指定旧跡 池永道雲墓

【所在】練馬4-27 受用院墓地内

【交通】豊島園駅 下車 徒歩5分

#### ●都指定史跡

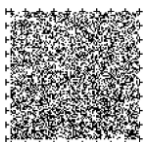
東高野山奥之院

【所在】高野台3-10

長命寺境内

【交通】練馬高野台駅

下車 徒歩5分



石神井公園ふるさと文化館主催  
東京文化財ウィーク2023  
参加事業



「わたしのお家」 1940年代

写真提供・所蔵 株式会社トイズ



「めんこ(複数)」 1950~60年代

●特別展

「紙のおもちやがいっぱい  
レクシヨン」 北原コ

百人一首、双六、メンコ、着せ替え人形、

複雑なペーパークラフトなど、一口に紙のおもちやといっても、いろいろなものがあります。本展示では、ブリキのおもちや博物館館長・北原照久氏のコレクションを中心に、明治期から高度経済成長期にかけての子どもたちが魅了した、紙のおもちやを展示します。

【期間】9月16日(土)～11月5日(日)

午前9時～午後6時

【場所】同館 企画展示室

【観覧料】一般300(200)円、高校生・大学生200(100)円、65歳以上の方150円。

中学生以下と75歳以上の方、無料。

\*身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は、一般150円/高校生・大学生100円

\*区立美術館との相互割引あり

\* ( )内は20名以上の団体料金

大学生100円

●特別展開演講演会

「コレクシヨンの愉しみ……紙おもちやの魅力」

【日時】10月14日(土)

①午前10時30分～正午

②午後2時～午後3時30分

【場所】同館 多目的会議室

【講師】北原 照久(ブリキのおもちや博物館館長)

【定員】各回90名(多数の場合は抽選)

【参加費】無料

【申込】往復ハガキまたは館公式HP申込フォームにて、①イベント名、②希望回

(A・B)どちらか、どちらでも可か、③

氏名(ふりがな、申し込みは2名まで)、  
④住所、⑤電話番号を記入の上、石神井公園ふるさと文化館へ。9月20日(必着)

●特別展開演ワークショップ

「紙ロボットを作ろう!」

【日時】10月29日(日)

①午後1時30分～午後2時15分

②午後3時～午後3時45分

【場所】同館 多目的会議室

【講師】早川 香恵子(ブリキのおもちや博物館社員)

【定員】各回20名(多数の場合は抽選)

【参加費】300円(材料費)

【申込】往復ハガキまたは館公式HP申込フォームにて、①イベント名、②希望回

(A・B)どちらか、どちらでも可か、③

氏名(ふりがな、申し込みは2名まで)、

④住所、⑤電話番号を記入の上、石神井公園ふるさと文化館へ。10月4日(必着)

●特別展開演解説会

【日時】9月23日(土・祝)、午後2時から1時間程度

【場所】同館 企画展示室

【解説】早川 香恵子(ブリキのおもちや博物館社員)

【参加費】当日の観覧券が必要

【申込】不要。当日会場にお越しください。

●特別公開「小野蘭山墓誌」

江戸時代中期の本草学者(博物学者)である小野蘭山(一七二九～一八一〇)の墓誌(都指定有形文化財)を特別公開します。

【期間】10月28日(土)～11月5日(日)

【場所】同館 常設展示室(無料)

●一丸山東遺跡方形周溝墓出土品

弥生時代後期の方形周溝墓から出土した壺形土器、鉄剣、ガラス玉、管玉かなる出土品(都指定有形文化財)を通常で常設展示しています。

【場所】同館 常設展示室(無料)

●石神井城跡発掘パネル展

石神井城跡(中世豊島氏の城跡、都指定史跡)の発掘調査当時の様子や成果などを、特別公開中の主郭内にて写真パネルで紹介いたします。

【期間】11月3日(金・祝)～11月5日(日)午前10時～午後4時

【場所】都立石神井公園内石神井城跡(石神井台1丁目)(無料)

石神井公園ふるさと文化館

住所…〒177-0041練馬区石神井町5-12-16

電話…03(39996)4060

休館日…月曜日(月曜日が祝休日の場合はその翌平日)・年末年始

開館時間…午前9時～午後6時



# 比丘尼橋遺跡C地点 発掘調査成果

練馬区の北西にあたる大泉地域には、白子川が流れており、現在でも湧き水がみられます。この地域は、高速道路建設で大きく風景が変わりました。

東京外かく環状道路大泉ジャンクション建設事業が、東大泉二丁目28番において計画されたため、平成26年(二〇一四)に「八の釜憩いの森」で遺跡の有無確認の調査を区が行いました。その結果、縄文時代の炉穴や旧石器時代の調理の跡である礫群が発見され、東京都埋蔵文化財センターが、平成26年から四年間発掘調査を実施しました。調査面積は、七、五〇五㎡です。遺構は、旧石器時代の石器集中部が74箇所、礫群が95箇所、縄文時代では、調理施設であった集石が12基、火を焚いた跡である炉穴が12基等発見されました。

III  
IV  
V  
VI  
VII  
IX  
X



立川ローム層

また、東京都による外かく環状道路の地上部街路(外郭環状線の2)の計画に先立ち、平成26年から令和4年(二〇二二)にかけて断続的に五九六㎡の発掘調査が行われました。旧石器時代の石器集中部が6箇所、礫群が10箇所、縄文時代の焼土跡等が発見されたほか、旧石器時代の石器が五、四八二点、縄文時代では、早期(六千年前)の土器や石器が出土しました。ここでは、旧石器時代の発掘調査成果について紹介します。

旧石器時代では、富士山の火山灰である立川ローム層のⅢ層からⅤ層で石器が出土しました。ちなみにⅤ層は三万八千年前の火山灰です。左の写真は、Ⅴ層から出土した、刃部が磨かれている斧形石器(局部磨製石斧)です。凝灰岩の礫面が残る石器で、長さが9.5cmです。

立川ロームⅤ層は、鹿児島県の始良山(あいらさん)と、神奈川県の日沢山の火山灰をあわせて、始良・丹沢パミスと言われています。年代は、二万八千年前です。最も多くの石器が出土したのはⅤ層で、信州系の黒曜石のナ



斧形石器 IX層



尖頭形石器・ナイフ形石器 IV層

イフ形石器や、山梨県甲府由来の可能性のある水晶製のナイフ形石器が発見され、水晶製品は、区内で最も多い20点が出土しています。

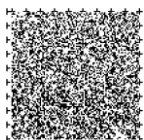
右の写真の上段中央は、立川ロームⅤ層から出土した水晶製のナイフ形石器で、原産地は山梨県甲府です。右端の透明度が高い水晶製の石器は、比丘尼橋遺跡B地点出土ですが、分析によって産地が異なることが判明しました。下段の黒曜石製品は信州系のナイフ形石器です。上段左端の石器は槍のように周縁を調整している尖頭形石器(尖頭器)で、下段の石器に比べ、不純物を多く含む黒曜石を使っています。黒曜石の原産地分析は、資料の蓄積が多く、研究がかなり進展していますが、水晶については、産地を同定しうる十分なデータが少なく、今後の研究が期待されます。



これらの石器は、右の写真のように集中して出土し、中には接合関係がみられるものがあり、石器製作跡と考えられます。

このように、外かく環状道路敷設に先立つ発掘調査は、旧石器時代の生活を知る上で、大変貴重な成果を収めました。

文献 『練馬区比丘尼橋遺跡C地点 東京都埋蔵文化財センター調査報告第356集』第1〜3分冊2020・『練馬区比丘尼橋遺跡C地点T区 東京都埋蔵文化財センター調査報告第376集』2023



# 関東大震災から100年

令和5年は、関東大震災から100年を迎える節目の年に当たります。

未曾有の被害をもたらした大地震は、その後の東京の都市計画に大きな影響を与えました。また、東京郊外の市街化を加速させました。

区内に所在する文化財からも、その痕跡をうかがうことができます。

大正12年(一九二三)9月1日午前11時58分、マグニチュード7.9と推定される巨大地震が関東地方を襲いました。特に、東京東部と横浜において建物倒壊と地震後の火災による被害が甚大で、最終的な死者・行方不明者は約10万5千人、全半壊・焼失した家屋は37万棟に上りました。練馬区域は、都心部に比べれば被害が小さかったものの、区立練馬文化センターの位置(練馬1-37)にあった紡績工場では、9名が犠牲となりました。一周



関東大震災犠牲者慰霊碑

忌に従業員一同によって造立された、「大震災横死者吊魂碑」と刻まれた慰霊碑が、罹災状況を今に伝えていきます。(関東大震災犠牲者慰霊碑・区登録、錦1-19円明院内)

震災後、都市復興計画の中で大規模な区画整理事業が実施され、郊外に移転する寺院が多くありました。

下谷(現・台東区)にあった廣徳寺は、敷地の一部を練馬区域の現在地(桜台6-20)に移転しました。その後本坊も同地へ移っています。開山の明叟宗普書状(区登録、非公開)など、多数の文化財が所蔵されています。

浅草(現・台東区)にあった誓願寺の塔頭十一ヶ寺も、震災後に区域へ移転した寺院群です。塔頭の迎接院墓地内にあった本草学者の小野蘭山墓、受用院墓地内の書家・篆刻家の池永道雲墓も、このとき

現在地(練馬4-27)へ移転しました(1頁参照)。なお、平成17年(二〇〇五)の小野蘭山墓改装にあたり発見された墓誌は、東京文化財ウィーク期間限定で、石神井公園ふるさと文化館にて特別公開されます(2頁参照)。(小野蘭山墓及び墓誌・都指定、練馬4-27迎接院墓地内、墓誌は石神井公園ふるさと文化館保管)

(池永道雲墓・都指定、練馬4-27受用院墓地内)。

植物学者の牧野富太郎は、震災後の大正15年に、東大泉に移り住みました。標本を守るには郊外の方が安全だと考えたからと、自伝に記しています。

震災後、人口密度の高い都心部から、地価が安く環境のよい郊外に住まいを求めた傾向が強まってきました。

博士の居宅と庭の跡は、牧野記念庭園として一般公開されています(1頁参照)。(牧野記念庭園(牧野富太郎宅跡)・都指定、東大泉6-34)



牧野記念庭園

同潤会は、復興住宅供給事業のために設立された団体です。昭和9年(一九三四)には、同潤会江古田分譲住宅30棟が、練馬区域に建設されました。現存する佐々木家住宅は、国登録有形文化財となっています(非公開)。

## 文化財保護審議会委員委嘱(第19期)

練馬区では、区内文化財の保存・活用を図るため、練馬区文化財保護条例に基づき、学識経験者で構成する練馬区文化財保護審議会を設置しています。

主な役割は、①教育委員会の諮問に応じる。②文化財の保存等について重要事項を調査し、審議する。③重要事項について教育委員会に提言する。の3点です。

この度、令和5年4月1日付けで、左記6名の方に委員を委嘱しました。任期は2年です。

### ◆委員一覧(敬称略・五十音順・専門分野)

- 伊郷 吉信 自由建築研究所 (建築)
- 漆澤その子 武蔵大学教授 (日本芸能史・文化史)
- 佐藤 孝之 東京大学史料編纂所名誉教授 (日本近世史)
- 副島 弘道 大正大学名誉教授 (日本彫刻史・文化財学)
- 松崎 憲三 成城大学名誉教授 (日本民俗学)
- 森 公章 東洋大学教授 (日本古代史)

